

抗血小板薬の休薬期間

抗血小板薬は手術前や抜歯前などに休薬することが知られている。その休薬期間について考えてみましょう。

まず、基本的な考え方としては薬剤の血小板との結合が可逆性であるか不可逆性であるかです。

まず、可逆性の薬剤は薬の作用の切れる時間を計算しそちらが休薬期間となります。

不可逆性の薬剤は血小板の寿命(約8～10日といわれています)が休薬期間となります。

代表的な薬剤について考えてみましょう

薬品名	可逆性or 不可逆性	休薬期間
チクロピジン	不可逆性	7～10日前
クロピドグレル	不可逆性	14日前
アスピリン	不可逆性	7～10日前後
イコサペント酸エチル	不可逆性	7～10日前後
サルポグレラート	可逆性	1～2日前
シロスタゾール	可逆性	2日前
ジピリダモール	可逆性	1～2日前
ベラプロストナトリウム	可逆性	2日前

ワルファリンの休薬期間

手術、抜歯の4～5日前より休薬する。

参考資料:治療薬マニュアル2006 医学書院
処方がわかる医療薬理学2004-2005 中原 保裕 Gakken
薬局 増刊号 病気と薬の説明ガイド2006 南山堂
今日の治療薬2007 神谷 大雄 久保 孝夫 塩見 浩人 南江堂
各医薬品添付文書およびインタビューホーム